



食は健康の礎なり

～今、食育がなぜ注目されているのか～

子どもたちの食生活が乱れ体力が低下している今、子どもたちが将来にわたって健康な生活を維持していくために、私たちは何をすればいいのでしょうか。さまざまな分野の講師の話聞き、一緒に考えていきます。

第1部 リレー講演 13:00～15:30

司会：健康科学科教授 加藤秀夫

講演の内容

<u>学校・家庭の連携の大切さ</u>	県立広島大学助教授	岩本珠美
<u>食育の大切さと難しさ</u>	県立広島大学院生	森 朝美
<u>元気を育む食生活</u>	大竹市立大竹小学校教頭	泉谷昌子
<u>子育てと食育への期待</u>	保護者	山川和美
<u>食品メーカーからみた食育</u>	堂本食品(株)取締役社長	堂本高義
<u>柔らか食品の開発</u>	広島県立食品工業技術センター 食品加工技術部長	坂本宏司
<u>食育よもやま話</u>	中国放送アナウンス室専任局次長	煙石 博

十一月十二日

晴れ

第2部 パネルディスカッション 15:45～16:50

司会：健康科学科助教授 岩本珠美・栢下 淳

■日 時 平成18年11月12日（日） 13:00～16:50

■会 場 県立広島大学広島キャンパス大講義室（教育研究棟2 1階）
（〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号）

■対 象 どなたでも

■問合先 県立広島大学地域連携センター

Tel 082-251-9534（直通）/Fax 082-251-9405（代表）

■主 催 県立広島大学

●申込不要、無料です。直接、会場へお越しください。

●公共交通機関をご利用ください。

◎市内電車 ①③⑤（宇品線）「県病院前」下車・徒歩7分

◎広電バス 12号線（仁保沖町）「県立広島大学前」下車・5歩2分

